

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数	4単位	学年(コース)	3学年（選択）
使用教科書	大修館書店 『国語表現』				
副教材等	なし				

1. グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- ② 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深め、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次の通りです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	言葉と出会う	5 B	言葉と表記	基本的な語彙力を磨く。	abc	小テスト
		5 B	整った文を書く	係り受け・文のねじれ、常体と敬体について学ぶ。	abc	ワークシート
5	言葉と出会う	5 B	相手に応じた言葉遣い	相手の気持ちに配慮した言い回しや敬語を習得する。	abc	小テスト
		5 B	わかりやすい文を書く	短文・句読点の効果を学ぶ。	abc	課題作文
6		5 B	文のつながり方	接続表現を使い分ける。	abc	ワークシート
		1 B	定期考査		a b	
7	自己PRと面接	6 A	自分を見つめて	自己分析で材料を集める。	abc	ワークシート
8		6 A	効果的な自己PR	話す内容を整理する。	abc	ワークシート
9		5 B	将来の自分を考えよう	「将来の自分」を文章にまとめる。	abc	課題作文
		5 B	志望理由書を書こう	構成を考えて書く。	abc	課題作文
		5 B	自己推薦書や学習計画書を書く	書く材料の吟味と言葉遣いの点検に取り組む。	abc	課題作文
		7 A	面接にチャレンジ	模擬面接を体験する。	abc	発表の様子
		7 A	グループディスカッションをしよう	発言の視点に配慮し、他者の意見を取り込む工夫をする。	abc	発表の様子
10	小論文・レポート入門	5 B	小論文とは何か	小論文の基本的な構成を理解する。	abc	ワークシート
		8 B	反論を想定して書く	対立意見の想定をもとに、反論の理由を吟味する。	abc	課題作文
		10 B	文章を読み取って書く	要約に取り組む。	abc	小テスト
11	伝える、伝え合う	7 A	自己紹介ゲーム	相手に応じた適切な自己紹介を考える。	abc	ワークシート 発表の様子
		7 A	言葉のストレッチ体操	傾聴を体験する。	abc	ワークシート
		6 B	絵や写真を見て書く	発想を柔軟にして、新たな感性を育む。	abc	課題作文
		6 B	マイニュース記事を書こう	説明文の書き方について学ぶ。	abc	課題作文
12		1 B	定期考査		a b	
	メディアを駆使する	6 B	通信文を書き分ける 電話を使いこなす	様々な通信手段のマナーを身につける。	abc	ワークシート
	表現を楽しむ	6 B	言葉で遊ぶ	回文・折句など日本の伝統文化の面白さを知る。	abc	ワークシート
1		10 B	エッセイを書こう	新聞投稿などで自分の意見や感じ方を表現する意欲と自信を育む。	abc	課題作文
		1 B	定期考査		a b	

計 140 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 40 時間	B 「書くこと」 100 時間
-----------------	------------------------	--------------------

7 課題・提出物等

- ・ 理解力確認のための小テスト適宜を行う。
- ・ 各単元の基本に課題を与えて、提出させる。

8 担当者からの一言

「国語表現」は、卒業後の様々な場面で役立つ国語力を育成する科目です。実社会に必要な言語表現の知識や技能を身につけます。また表現を通して自らの思索を深め、国語に親しむ態度の育成を目指します。
(担当：西村 健)